

19/08/20

吸入マイスターバッジに込めた想い

吸入薬は繰り返しの吸入指導が重要です。

良質な指導を行なうためには指導を行なう

薬剤師も継続的な学習が必要になります。

吸入支援に対する有用な手法を習得し、継

続的な学習を実践している証として、吸入

マイスターを認定しています。そして、マ

イスターには吸入マイスターバッジをお渡

ししています。

このバッジの作成の際にデザインにした想いを言葉にもしておきたいと思いま

す。

まず、このバッジですが、なんとなく肺や気管支をイメージしたものというこ

とはお分かりいただけるかと思います。



マイスターバッジ

真ん中に赤い丸がついていますが、このことで、アルファベットの「i」を表現しています。この「i」には2つの意味を込めました。1つは、Inhalerつまり吸入薬です。この「i」の字が、吸入を実施する際の患者さんの口にセットされた時の位置に赤い丸を設けたわけです。また、吸入マイスターですから、インヘラーのことをしっかり Information（情報提供）してほしいという Inform の「i」という意味もあります。

そして、このデザインをよく見ていただくと、人が2人向かい合った姿に見えてきませんか？実は、このイメージデザインは、赤丸の吸入薬を真ん中に置き、これから吸入をおこなう患者さんが、デバイスを持ち反対側の、指導者と患者が向かい合い患者さんのデバイスを支える姿にもみえるように作ってあります。吸入薬というデバイスに対しての指導を行うわけですが、当然対象となる、患者さんもしっかり向き合いましょうというメッセージでもあります。

吸入支援ネットワークの医師からは、薬局でこのバッジをした薬剤師は特に吸入指導の訓練を継続して実施している薬剤師なので、このバッジを目安にしてかかりつけ薬剤師を選んだらどうかと説明をしてくださっているようです。

また、患者さんは、症状を改善したいという想いを当然持っているはずです。

是非とも、この想いを胸に吸入療法を支援していきたいと思います。

(文責 熊谷市薬剤師会 会営薬局江南店 薬局長 田島敬一)